

第45回岩手県環境審議会における第三次岩手県循環型社会形成推進計画（第五次岩手県廃棄物処理計画・岩手県ごみ処理広域化計画）の基本的方向について（答申素案）に対する委員意見への対応

No.	委員	意見	対応	備考
1	伊藤委員	本文では「2R」について「リデュース」と「リユース」であることが分かる記載があるが、概要には「2R」とだけ書かれている。「2R」が「リデュース」と「リユース」であることを概要にも明記した方がよいのではないか。	概要中段の「課題」において2Rが「リデュース」及び「リユース」であることが分かるように記載しました。	別紙
		「ごみの循環的利用」について、再生利用される「ごみ」がどのように利用されたのかを示していただけませんか？	御意見の趣旨を踏まえ、容器包装リサイクル協会の資料等を参考に、リサイクルの実態について、記載を追加しました。	計画 13p 14p
		「目標値」について、一般廃棄物の最終処分量が記載されている。今後の県内人口の減少を考慮し、他のごみ排出量の指標のように、一人1日当たり、あるいは1人当りに換算した目標値も併記してはどうか？	最終処分量に関わる「焼却残さ率」は焼却炉の性能が大きく影響しますので、1人1人の排出に関連する目標値としてはふさわしくないものと考えます。	計画 20p
		「一般廃棄物の将来予測」について、産廃のような将来見込み（総排出量、内訳、リサイクル率）の図を示してはどうか？	産業廃棄物将来推計は集計業務の委託事業の中で算出していますが、一般廃棄物は同様の推計は行っていません。 一般廃棄物排出量は人口推移に左右されると考えており、新型コロナウイルスの影響も見極めながら対応を検討していく旨を記載しております。	計画 37p 38p
		「2 ごみの広域的処理の推進」の4つ目「強靱な焼却施設を整備し、」とあるが、その整備に対する県の役割はどのような内容になるか？	市町村への技術的助言（広域ブロック推進等）、国の交付金制度（循環型社会形成推進交付金等）の活用支援等です。	計画 58p
		概要の施策の展開方向2(2)に「エネルギー拠点としての整備」と記載されているところ、資料編には焼却施設のエネルギー利用の現状が詳しく記載されていますが、本文での記載が少ないのではないか。 本文に独立した項を設けて、エネルギー回収拠点化の今後の進め方について、より具体的に記述してはどうか？	国の循環型社会推進基本計画の記載も踏まえ、本県における廃棄物処理施設のエネルギー回収拠点等としての機能に係る記載を追記しました。	計画 16p 36p

No.	委員	意見	対応	備考
2	阿部委員	農業用廃プラスチックの適正処理に当たっては、農家へのコスト的な負担が大きいことから、補助制度があるとよいのではないか。	<p>農業用廃プラスチックについては、生分解性プラスチックマルチフィルムの普及拡大等により、農業用廃プラスチックの発生抑制を促進します。</p> <p>また、適正処理に関する意識啓発や組織的な回収処理に関する周知を行うことにより、農家が保管している廃プラスチックの回収率を高め、再生利用及び適正処理を推進します。</p> <p>なお、産業・地域ゼロエミッション推進事業等を通じて、事業者のニーズを踏まえた支援を継続していきます。</p>	計画 50p 51p
3	鷹嘴委員	LED化が進むことで蛍光灯が大量に更新されるなど、省エネの施策が進むほど産業廃棄物が増加してしまうのではないかと懸念している。	委員御指摘のとおり、一時的には排出量が増えることも予想されますが、更新に伴う長寿命化や小型化により、長いスパンで見れば排出量は減少するものと考えております。	計画 32p 61p